

令和四年二月定例会（二月十日）

# 長野広域連合議会会議録

長野広域連合議会

令和四年二月三日（木曜日）

出席議員（二十八名）

第一番	北澤哲也議員
第二番	市川和彦議員
第三番	若林祥議員
第四番	小林義直議員
第五番	小泉栄正議員
第六番	手塚秀樹議員
第七番	松井英雄議員
第八番	小林秀子議員
第九番	松木茂盛議員
第十番	塩入学議員
第十一番	黒沢清一議員
第十二番	滝沢真一議員
第十三番	佐藤壽三郎議員
第十四番	宮本泰也議員
第十五番	和田英幸議員
第十六番	小玉新市議員
第十七番	中村眞一議員
第十八番	西沢悦子議員
第十九番	小宮山定彦議員
第二十番	小西和美議員
第二十一番	小林一広議員

第二十三番

第二十四番

第二十六番

第二十七番

第二十八番

第二十九番

第三十番

欠席議員（二名）

第十三番

第二十五番

西原澄夫議員

柴田弘男議員

佐藤武雄議員

小林和人議員

鎌倉一夫議員

渡邊千賀雄議員

伊藤まゆみ議員

中島義浩議員

森山木の実議員

説明のため会議に出席した理事者

広域連合長（長野市長）

副広域連合長

理事（須坂市長）

理事（千曲市長）

理事（坂城町長）

理事（小布施町長）

理事（高山村長）

理事（信濃町長）

理事（小川村長）

理事（飯綱町長）

荻原健司

樋口博

三木正夫

小川修一

山村弘

桜井昌季

内山信行

横川正知

染野隆嗣

峯村勝盛

説明のため会議に出席した職員

(事務局職員)

事務局長

竹村直高

会計管理者

西山昭雄

事務局次長兼福祉課長

三井正幸

事務局次長兼環境推進課長

齊藤秀浩

総務課長

西澤真一

総務課主幹

新井芳美

福祉課主幹

中島威

環境推進課建設推進室長

中村豊文

福祉課長補佐

岩渕泰和

環境推進課長補佐

島津忠敦

総務課係長

小笠原洋子

職務のため会議に出席した職員

総務課長補佐

青木淳

総務課係長

仲俣啓子

総務課係長

宮下康宏

## 議 事 日 程

- 一 開会、開議
- 一 会期の決定
- 一 会議録署名議員の指名
- 一 諸般の報告
  - 例月現金出納検査の結果報告
- 一 議案第一号から議案第七号
  - 一括上程、理事者説明、質疑、委員会付託
- 一 議案第八号 公平委員会委員の選任について
  - 上程、理事者説明、質疑、採決
- 一 一般質問
- 一 委員長報告
- 一 委員長報告に対する質疑、討論、採決
- 一 広域連合長挨拶
- 一 閉会

午前九時五十九分 開会

○議長（小泉栄正） おはようございます。

ただ今のところ、出席議員数は二十八名でございます。

よって、会議の定足数に達しておりますので、これより令和四年二月長野広域連合議会定例会を開会いたします。

午前九時五十九分 開議

○議長（小泉栄正） 本日の会議を開きます。

本日の欠席通告議員は、十三番 中島義浩議員、二十五番 森山木の実議員の二名であります。

初めに、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期につきましては、議会運営委員会の意見を徴しました結果、本日一日といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日一日と決定いたしました。

なお、日程につきましては、お手元に配布のとおり行いたいと思いますので、御了承をお願いいたします。

次に、会議録署名議員を指名いたします。

九番 松木茂盛議員、二十七番 小林和人議員、以上、二名の議員を指名いたします。

この際、諸般の報告をいたします。

監査委員から、令和三年十月分から十二月分の一般会計・特別会計の例月現金出納検査の結果について、議長の手元に報告書が参っておりますので、御報告申し上げます。

続いて、議事に入ります。

議案第一号から議案第七号、以上七件、一括議題といたします。  
理事者から提案理由の説明を求めます。

荻原広域連合長。

○広域連合長（荻原健司） 皆様、おはようございます。

本日ここに、令和四年二月長野広域連合議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、御出席をいただき、誠にありがとうございます。

さて、全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大しており、長野県内においても、一月二十七日から二月二十日までの間、全ての圏域について感染警戒レベルを六とし、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等重点措置が講じられております。

議員の皆様をはじめとする長野地域の住民の皆様におかれましては、引き続き、基本的な感染予防策等の徹底を図り、感染拡大防止に努めていただきますようお願い申し上げます。

それでは、本広域連合の主要事業の状況について申し上げます。  
初めに、ごみ処理施設の状況について申し上げます。

千曲市に建設中のちくま環境エネルギーセンターにつきましては、現

在、千曲市及び坂城町の可燃ごみに加え、長野市南部の家庭系可燃ごみを受け入れ、試運転を行っております。この試運転では、ごみを焼却しながら、焼却炉などプラント機器の調整をはじめ、ごみクレーンなど附帯設備を調整するなど、これまで順調に進んでおります。

今後、機械の調整や点検を重ね、性能試験を経て、令和四年五月末に竣工となる見込みでございます。

次に、次期一般廃棄物最終処分場建設候補地の選定状況につきまして、対象となる関係市町村から広域連合に対し、候補地の報告がございました。

長野市は中条地区、信濃町は高沢地区、小川村は梶尾地区、飯綱町は地蔵久保地区でございます。

本広域連合は、これまでに候補地の皆様に対する地元説明会を開催し、当該地区を候補地とすることについて御理解をいただけたことから、本日、御報告をするものでございます。

この説明会において、地元から周辺環境や地下水への影響等を心配される御意見もございまして、候補地の現況と施設整備による影響等を把握するため、各候補地において、現況調査の準備を進めております。

この調査は、四月から二か月程度を予定しており、この結果を踏まえ、学識経験者で構成する専門委員会において、適地の選定を進めてまいります。

次期最終処分場の候補地選定に当たりましては、候補地の皆様に調査結果等、丁寧に説明するとともに、御理解をいただいた上で、事業を進めてまいります。

次に、特別養護老人ホームなど、高齢者福祉施設等の社会福祉法人への運営移管について申し上げます。

特別養護老人ホーム久米路荘及び信州新町デイサービスセンターの運営移管については、令和五年四月の移管に向けて、現在、移管先法人のウエルフェアアコスモスと移管に関する基本協定書、職員の出向計画や引継ぎ計画書等について協議を行っているところでございます。

続けて、高齢者福祉施設の運営について申し上げます。

運営移管を進める一方で、建物や設備の老朽化、介護職員不足など、高齢者福祉施設を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような中、今年度は、居室用エアコンの設置や老朽化した設備の更新を行うなど、計画的に施設整備を進めております。来年度は、浴室の改修などを行うとともに、昨年十一月に頂きました寄附金を活用して、温かな食事を運ぶ配膳車を購入するなど、利用者の皆様が快適な生活を送っていただけるよう、引き続き、取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、入所者をはじめ、従事している職員の三回目のワクチン接種を進め、二月中には完了する予定となっております。

現在、タブレット端末などを活用したリモートによる面会以外は、全ての施設で面会を中止しております。

今後、入所者の御家族に御協力をいただきながら、感染防止に万全を期してまいります。

以上、本年度の主要事業の状況について申し上げますが、引き続き、関係市町村と協力し、事業の推進に努めてまいりますので、議員の皆様

の御支援、御協力をお願い申し上げます。

本議会に提出いたしました案件は、令和四年度長野広域連合一般会計予算案など、議案八件でございます。議案の詳細につきましては、人事案件は私から、その他の案件は副広域連合長から説明申し上げますので、十分な御審議をいただき、御決定賜りますようお願い申し上げます。御挨拶いたします。よろしくお願いいたします。

○議長（小泉栄正） 樋口副広域連合長。

○副広域連合長（樋口 博） おはようございます。

私から、本定例会に提出いたしました各議案につきまして御説明申し上げます。

初めに、議案第一号、令和三年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算について御説明申し上げます。

お手元の資料は、議案目録のつづりを一枚おめくりいただきまして、左の上に議案第一号と記載されております補正予算書の一ページを御覧いただきたいと存じます。

今回の補正予算は、第一条で歳入歳出にそれぞれ一千万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ二十六億八千八百三十九万四千円とするものでございます。

補正の内容でございますけれども、次の二ページをお開きいただきましたと存じます。

第一表、歳入歳出予算補正の下段の表、歳出から御説明申し上げます。

第一款民生費、一項養護老人ホーム松寿荘運営費及び三項特別養護老人ホーム運営費の補正額、それぞれ五百万円は、令和三年十一月に、匿名によります老人ホーム松寿荘への寄附金一千万円が郵送されたことに伴いまして、施設利用者に役立てるため、備品購入費に充てるものでございますが、コロナ禍において、物品調達に時間を要することから、翌年度予算で執行することとし、令和三年度は財政調整基金に積み立てるため、運営費積立金にそれぞれ五百万円を追加するものでございます。

また、上段の歳入でございますが、第四款寄附金、一項寄附金に、補正額一千万円を追加するものでございます。

以上、議案第一号、補正予算の説明を終わります。

続きまして、別冊になっております黄緑色の令和四年度長野広域連合一般会計・特別会計予算を御覧いただきたいと存じます。

まず、一ページをお開きください。

議案第二号、令和四年度長野広域連合一般会計予算について御説明申し上げます。

第一条のとおり、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ四億七千四百七十一万円とするものでございます。

第二条の一時借入金、地方自治法第二百三十五条の三第二号の規定によりまして、最高額を三億円と定めるほか、第三条は、給料などの人件費に過不足が生じた場合に、同一款内で各項の間の流用を認めていただくものでございます。

おめくりいただきまして、二ページから三ページをお開きください。

第一表、歳入歳出予算でございます。

最初に、右側の歳出から御説明申し上げます。

第一款の議会費、二百二十四万九千円は、議会活動に要する経費を計上したものでございます。

第二款総務費一億二千二百五十五万三千円は、総務課職員の人件費など、一般管理的経費と監査、公平、選挙の各委員会の運営費を計上したものでございます。

第三款民生費一億八千七百一万五千円は、福祉施設の運営管理に係る費用及び介護認定審査会並びに障害支援区分認定審査会等の開催に要する経費を計上したものでございます。

第四款衛生費一億六千二百二十六万三千円は、ごみ処理施設の整備に係る人件費などでございます。

第五款公債費十三万円は、一時借入金の利子を計上したものでございます。

第六款予備費は五十万円を計上いたしました。

次に、左側の二ページを御覧いただきたいと存じます。

歳入について御説明申し上げます。

第一款分担金及び負担金四億二千八百八十五万八千円は、関係市町村からの負担金でございます。

第二款財産収入九千円は、財政調整基金の運用利子でございます。

第三款繰越金六千二百七十四万一千円は、前年度からの繰越金を見込んだものでございます。

第四款諸収入十万二千円は、預金利子及び雑入でございます。

以上で、一般会計予算の説明を終わります。

なお、五ページ以降、三十六ページまでは明細書でございますので、説明は省略いたします。

次に、三十七ページをお開きください。

議案第三号、令和四年度長野県広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計予算について御説明申し上げます。

第一条のとおり、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ二十五億八千四百三十四万八千円とするものでございます。

第二条の債務負担行為につきまして、四十ページをお開きいただきましたと存じます。

地方自治法第二百十四条の規定によりまして、債務を負担する行為をすることができるとする事項、期間及び限度額について、第二表、債務負担行為のとおり、老人ホーム三施設の調理業務委託についてそれぞれ定めるものでございます。

お戻りいただきまして、三十七ページをお開きください。

第三条は、人件費に過不足が生じた場合に、同一款内での各項の間の流用を認めていただくものでございます。

おめくりいただきまして、次に、三十八ページから三十九ページをお開きいただきたいと存じます。

最初に、第一表、歳入歳出予算の右側の歳出から御説明申し上げます。第一款民生費二十四億五千九百九十八万八千円は、養護老人ホーム二施設及び特別養護老人ホーム五施設などの運営費でございます。

第二款公債費一億三千三百二十五万円は、老人ホーム建設の際に借りた地方債などの元利償還費でございます。

次に、左側の歳入について御説明申し上げます。

第一款サービス収入十八億三千三百九十三万八千円は、特別養護老人ホームなどの介護保険報酬及び利用者の自己負担金でございます。

第二款分担金及び負担金七億二千二百九十七万七千円は、養護老人ホーム二施設に係る市町村からの措置費負担金と老人ホームの公債費負担金及び施設運営費負担金でございます。

第三款財産収入六十七万五千円は、財政調整基金の運用利子でございます。

第四款寄附金七千円は、各老人ホームの寄附金を見込んだものでございます。

第五款繰入金二千三百五十八万八千円は、施設運営費及び松寿荘に係る寄附金の前年度積立て分を財政調整基金から取り崩し、繰り入れるものでございます。

第六款繰越金一千円は、前年度からの繰越金でございます。

第七款諸収入五百七十六万二千円は、受託事業収入及び雑入でございます。

以上で、老人福祉施設等運営事業特別会計予算の説明を終わります。

なお、四十一ページから九十九ページまでは明細書でございますので、説明は省略いたします。

次に、百一ページをお開きいただきたいと存じます。

議案第四号、令和四年度長野県広域連合長野地域ふるさと事業特別会計予算について御説明申し上げます。

第一条において、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ五百三十



一万九千円とするものでございます。

百二ページから百三ページを開きいただきたいと存じます。

最初に、第一表、歳入歳出予算の右側の歳出から御説明申し上げます。  
第一款地域振興整備事業費四百八十一万九千円は、ふるさと基金の運用益により実施しております長野地域子ども元気プロジェクト事業などの経費を計上したものでございます。

第二款予備費は五十万円を計上いたしました。

次に、左側の歳入について御説明申し上げます。

第一款県支出金二百三十九万二千円は、長野地域子ども元気プロジェクト事業について、県からの補助金を見込んだものでございます。

第二款財産収入百八十九万三千円は、ふるさと基金の運用利子でございます。

第三款繰越金九十八万九千円は、前年度からの繰越金でございます。

第四款諸収入四万五千円は、長野地域子ども元気プロジェクト事業参加者から徴収予定の一部負担金について予算化したものでございます。

次の百五ページから百十一ページは明細書でございますので、これも説明は省略いたします。

次に、百十三ページを開きいただきたいと存じます。

議案第五号、令和四年度長野広域連合ごみ処理施設事業特別会計予算について御説明申し上げます。

こちらは、ごみ処理施設の直接的経費であります施設整備及び施設管理運営に係る経費を計上したものでございます。

第一条、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ三十九億三千五百

二十万円とするものでございます。

第二条の債務負担行為につきましては、百十六ページを開きください。

これも地方自治法第二百十四条の規定によりまして、債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額について、第二表の債務負担行為のとおり、ごみ処理施設運営モニタリング支援業務委託について定めるものでございます。

お戻りいただきまして、百十三ページを開きいただきたいと存じます。

第三条は、給料など人件費に過不足が生じた場合に、同一款内で各項の間の流用を認めていただくものでございます。

次に、百十四ページから百十五ページを御覧いただきたいと存じます。  
最初に、第一表、歳入歳出予算の右側の歳出から御説明いたします。

第一款衛生費二十四億七千九百九十四千円は、ごみ処理施設の整備費及び施設管理運営費を計上したものでございます。

第二款公債費十四億六千四百十六千円は、焼却施設及び最終処分場の施設整備や用地取得により借り入れた起債などの借入金元利償還費でございます。

次に、左側の歳入について御説明申し上げます。

第一款分担金及び負担金二十億九千二百三十九万円は、関係市町村からの負担金でございます。

第二款使用料及び手数料十一億三千九百七十一千円は、事業所や住民がごみ処理施設に直接持ち込んだ際に徴収いたしますごみ処理手数料

等を見込んだものとございます。

第三款財産収入九十万円は、ごみ処理施設を運営する事業者の職員駐車場賃付料等を見込んだものとございます。

第四款繰越金七億五千万八千円は、前年度からの繰越金を見込んだものとございます。

第五款諸収入二千七百八十八万一千円は、ちくま環境エネルギーセンターの売電収入等を見込んだものとございます。

なお、百十七ページ以降は明細書でございますので、これも説明は省略させていただきます。

以上、令和四年度予算に係る議案につきまして御説明申し上げます。続きまして、議案第六号、七号の議案について御説明申し上げます。

お手元の資料は、議案目録のつづりの十ページを御覧いただきたいと存じます。議案目録の十ページでございます。

議案第六号、長野広域連合職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例につきましては、本件は、ちくま環境エネルギーセンターの稼働に当たりまして、令和三年十二月に、環境推進課内に千曲分室を設置したことに伴い、在勤地の市町村を規定する別表に環境推進課千曲分室を加えるものとございます。

施行期日につきましては、公布の日から施行するものとございます。次に、十二ページをお開きください。

議案第七号、長野広域連合養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例につきまして御説明申し上げます。

本件は、長野広域連合が運営する養護老人ホームにおいて、入所者と契約による契約入所を行うため、養護老人ホームの事業に規約で定め入所者の養護を追加し、条文を整備するものとございます。

施行期日につきましては、公布の日から施行するものとございます。

以上、議案第一号から第七号まで御説明申し上げます。よろしく御審議の上、御決定いただきますようお願い申し上げます。

○議長（小泉栄正） 以上で説明を終わります。

これより議案質疑に入ります。

なお、御発言に当たりましては、議席番号及び氏名をお願いいたします。

それでは、質疑に入ります。

議案第一号、令和三年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算について質疑を願います。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

次に、議案第二号、令和四年度長野広域連合一般会計予算 第一条 第一表、歳入歳出予算、歳出から行います。

第一款議会費。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
第二款総務費。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
第三款民生費。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
第四款衛生費。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
第五款公債費。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
第六款予備費。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
以上で歳出を終わります。  
続いて、歳入を行います。  
第一款分担金及び負担金。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
第二款財産収入。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
第三款繰越金。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
第四款諸収入。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

次に、第二条、一時借入金。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

次に、第三条、歳出予算の流用。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 以上で議案第二号を終わります。

次に、議案第三号、令和四年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計予算、第一条、第一表、歳入歳出予算、第二条、第二表、債務負担行為、第三条、歳出予算の流用、一括で質疑をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

次に、議案第四号、令和四年度長野広域連合長野地域ふるさと事業特別会計予算、第一条、第一表、歳入歳出予算、同じく一括で質疑をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

次に、議案第五号、令和四年度長野広域連合ごみ処理施設事業特別会計予算、第一条、第一表、歳入歳出予算、第二条、第二表、債務負担行為、第三条、歳出予算の流用、一括で質疑をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

続いて、議案第六号、長野広域連合職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について、質疑をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

続いて、議案第七号、長野広域連合養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、質疑をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

議案第一号から議案第七号まで、以上七件、お手元に配布いたしました委員会付託表のとおり、それぞれ関係の常任委員会に付託いたします。次に、議案第八号、公平委員会委員の選任について、本件を議題いたします。

理事者の説明を求めます。

荻原広域連合長。

○広域連合長（荻原健司） それでは、議案第八号、公平委員会委員の選任について御説明申し上げます。

まず、お手元の資料は、議案目録のつづりの十四ページをどうぞ御覧ください。

これは、三名の公平委員のうち、宮尾和榮氏が令和四年二月二十日をもって任期満了となることから、長野市篠ノ井岡田千六百九十三番地一、寺澤正人氏を選任いたしたく、地方公務員法第九条の2第2項の規定により、議会の御同意をお願いするものでございます。

なお、寺澤氏は、現在、長野市公平委員会委員にも就任されております。

何とぞ御同意いただきますようお願い申し上げます。

○議長（小泉栄正） 以上で説明を終わります。

本件について質疑を行います。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。  
お諮りいたします。

本件に関しては、委員会付託を省略し、直ちに採決に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 異議なしと認めます。

採決に入ります。  
採決を行います。

本件を原案のとおり選任について同意することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、本件は原案のとおり選任について同意することに決しました。  
ここで、午前十時五十分まで休憩いたします。

（休憩） 午前十時三十分

(再開) 午前十時四十八分

○議長(小泉栄正) 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、広域連合行政事務一般に関する質問に入ります。  
発言の通告がありますので、質問を許します。

十五番、宮本泰也議員。

○十五番(宮本泰也) おはようございます。

新型コロナウイルス、オミクロン株が日本全国で猛威を振るっており、県においても、二十日までまん延防止等重点措置が適用されております。広域連合の諸施設においては、職員の皆様方の大変な御努力により、感染予防対策が取られていることに対して、心より敬意と感謝を申し上げます。

また、十一月の質問において指摘しましたながの環境エネルギーセンター入り口の委託許可業者の方は使用禁止の貼り紙が、トイレ入り口です、の貼り紙が撤去されたことに対して、早速の対応に感謝を前段に申し上げて、通告により一般質問をさせていただきます。

件名一、(一) 令和四年度広域連合予算の施政方針について。

ア、令和四年度予算について、どのように編成されたのかの施政方針について伺います。

広域連合長就任後初の当初予算計上されました荻原連合長は、どのよ

うな施政方針の下に編成されたのか。主なものについて伺いいたします。

イ、新しい広域連合の課題検討について。

昨年の質問において、今後予想される急激な人口減少と構成自治体の厳しい財政状況並びに地球温暖化に伴う大規模災害への対応、さらに、ますます感染拡大が続いている新型コロナウイルス感染症対策などの観点から、消防組織の広域化についての検討を求めましたが、このことをはじめ、新しい広域連合の課題検討について、荻原新体制になり、どのような検討をなされるおつもりなのか、改めて伺います。

○議長(小泉栄正) 荻原広域連合長。

○広域連合長(荻原健司) 宮本議員から二点、御質問を頂戴いたしました。

まず、予算の施政方針についてでございます。お答えいたします。

令和四年度長野広域連合予算の施政方針については、予算に計上した主なものといたしましては、高齢者福祉施設の管理運営では、五年の整備計画に基づき、安全で安心なサービスを提供できるよう、必要性、緊急性等の高いものを厳選して対応することといたしました。

加えまして、施設の新型コロナウイルス感染症等の感染対策を引き続き行うことにより、利用者の健康管理に努め、入院によるベッドの空床期間等の最小限化を図り、サービス収入等の財源を確保することといたしました。

また、ごみ処理施設の管理運営では、ながの環境エネルギーセンター、ちくま環境エネルギーセンター及び最終処分場、エコパーク須坂の三つの施設整備が完了いたしますので、今後も関係市町村や地元区等との連携を図り、ごみ処理広域化基本計画に基づき、施設の安全で安定した管理運営を行ってまいります。

長野広域連合では、関係市町村の合意により、規約に規定された事務を広域計画に位置づけ、取り組んでおり、関係市町村の住民に対して目標や事務処理の方針を具体的に示すとともに、広域連合と関係市町村の役割分担を明確にしておりますので、今後も引き続き、広域計画の施政方針に基づき、予算編成を行ってまいります。

続いての御質問にお答えいたします。

予算の施政方針。新たな体制による課題検討についてでございます。

長野広域連合における新しい課題に対する検討につきましては、先ほどお答え申し上げましたとおり、本広域連合では、広域計画に位置づけられた事業に取り組んでおりますが、本年度から施行している五年間の広域計画は昨年度、策定したばかりでございますので、次期広域計画の策定の際には、それぞれの市町村が共通して抱える課題等を的確に捉え、長野広域連合で実施したほうが、住民の利便性や行政運営の経済性、効率性の観点等からより効果的である事業について検討し、長野広域連合議員の皆様をはじめ、関係市町村の皆様の声をしっかりと聞きをしなから、新たな課題解決に取り組んでまいりたいと考えてございます。

以上です。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） ありがとうございます。

是非、感染予防対策には十分万全を期して、またやっていただきたいと思っております。

また、次期の計画の関係なんですが、前にも申し上げましたけれども、今から検討しても先になるので、かなり遅くなりますので、是非、一刻も早くやらないと。小さい自治体もいっぱいありますので、是非、長野市さんがリーダーシップを執ってもらって、計画を進めてもらうように要望して、次の件名に移らせていただきます。

件名二、職員の人材確保と待遇改善について。

（一）ケアワーカーの人材確保について。

ア、ケアワーカーの人材確保について伺います。

ケアワーカーである看護介護職の人材確保は、全国的な課題となっております。広域連合において、人員確保は足りているのか。その現状と今後の確保策についてお聞きます。

（二）職員の待遇改善について。

ア、ケアワーカーの待遇改善について。

岸田内閣は、十一月十九日の閣議で、看護や介護などの現場で働く人たちの賃金上げを盛り込んだ経済対策、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策が決定されました。その内容は、介護職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、三パーセント程度、月額九千円を引き上げるための措置を令和四年二月から前倒しで実施す

るために必要な経費を都道府県に交付するとともに、他の職員の処遇改善にこの収入を充てることができる柔軟な運用を認める案が検討されているとのことであります。

令和三年度広域連合予算書で計上されている職員数で見ると、正規職員百三十九人、フルタイム会計年度職員数百三十二人、パートタイム会計年度職員数百二人、計三百七十三人です。正規職員が三十七・三パーセント、フルタイム三十五・四パーセント、パートタイム二十七・三パーセントとなります。いかに非正規職員が多いかが分かります。

厳しい自治体予算のしわ寄せが正規職員を減らし、非正規化の全国的流れの結果が広域連合においても如実に現れていると思います。

こうしたいき過ぎた格差社会の形成が岸田内閣の掲げる新しい資本主義において、賃上げの方向性が示されています。

広域連合においても、サービス提供のため、人材確保は極めて重要な課題と思います。

そこで、お伺いいたします。

一点目、長野広域連合において、この閣議決定の対象となる職員は、何人程度いて、正規、非正規へのどのような対応を取られるのか、お聞きします。

二点目、他の職員の処遇改善にこの収入を充てることができる柔軟な運用が認められるとのことへの対応はどうか、お聞きします。

イ、非正規職員の待遇改善について。

広域連合には、六割を超える非正規職員がおり、広域連合の業務推進の上で大きなウェイトを占めています。非正規職員の待遇改善は喫緊の

課題と思います。人が人へのサービスを行うには、働いている職員が幸せでなければなりません。

そこで、お伺いいたします。

一点目、正規職員、フルタイム会計年度任用職員及びパートタイム会計年度職員の区分けの基本的な考え方について、お聞きします。

また、予算書の給与費明細書にフルタイム会計年度職員の内訳も記載すべきと思いますが、御所見をお伺いいたします。

なお、質問通告したところ、フルタイム会計年度職員の給与費明細書が本日の追加資料で出されましたこと、迅速な対応をありがとうございます。

二点目、フルタイム会計年度任用職員及びパートタイム会計年度任用職員、それぞれの平均年収はどのくらいなのか。また、昇給や退職手当の状況についてお聞きします。

三点目、待遇改善をどのように考えているのか、お聞きいたします。

○議長（小泉栄正） 竹村事務局長。

○事務局長（竹村直高） それでは、私から、ケアワーカーの人材確保の現状についてお答えを申し上げます。

特別養護老人ホームにおける国の人員配置基準では、利用者三人に対して、看護介護職員を常勤換算で一名を配置することとされておりますが、本広域連合では、国の配置基準を上回る配置をすることによりまして、利用者の皆様が安全、かつ安心して御利用いただけるよう、サービスを



提供しております。

しかしながら、平成三十年度頃から、毎年度、幾つかの施設におきまして、職員の退職に伴う補充ができない状況となっております。

本広域連合では、看護師及び介護士等の会計年度任用職員が不足した場合、主に、ハローワークや長野県福祉人材センターといった求人サイトの活用、施設の所在市町村の広報誌への募集掲載、知り合い等を通じての声掛けなどにより、対応してまいりました。

このような対応に加え、人員不足が著しい施設では、民間の派遣業者からの派遣により対応しており、その施設においては、今回、新たな試みとして、五万部の新聞折り込みチラシを作成し、近隣地区に配布をいたしました。

今回の取組により、応募者が少しでも増えまして、より良い人材が確保できればと思っております。

現在、介護事業に限らず、様々な業種において、人材不足が叫ばれている中、広域連合の介護職員等の確保も容易ではないものと認識しておりますが、介護施設は必要不可欠な社会インフラでありますので、国の動向を踏まえ、引き続き、効果的なPRを行うことによりまして、人材確保に努めてまいります。

続いて、閣議決定の対象となる職員についてお答えします。

現在、県からの詳細な通知はございませんが、国で示している情報を基に対応できるよう、準備を進めているところでございます。

また、処遇改善をする職員は、令和四年二月一日現在、高齢者福祉施設で働いている介護職等の会計年度任用職員で二百九名全員を対象とし、

処遇改善手当を支給するよう予定しております。

県からの実施要綱等が示されましたら、速やかに本広域連合の方針を決定いたしましたして、給与システム等の改修や例規等の見直しを行ってまいります。

次に、柔軟な運用への対応については、今回の補助金を有効に活用いたしまして、看護及び介護職のケアワーカーのみならず、生活相談員等も対象として処遇改善を図ってまいりたいと考えております。

続いて、職員の区分けの基本的な考え方についてお答えいたします。

本広域連合では、一週間当たりの勤務時間で区分けをしております。正規職員は、一週間当たりの勤務時間が三十八時間四十五分で、この正規職員と同じ勤務時間の会計年度任用職員をフルタイム会計年度任用職員としております。この勤務時間より短い職員をパートタイム会計年度任用職員として位置づけております。

次に、二点目の平均年収でございますが、令和三年では、フルタイム会計年度任用職員は平均で約三百一十万円、パートタイム会計年度任用職員は約百二十二万円となっております。

また、昇給や退職手当の状況につきましては、本広域連合の職員の給与表は、国の行政職俸給表一を用いて給料の格付等を行っておりますが、フルタイム会計年度任用職員は、この給与表の一級を適用し、職種に応じて、基礎等級及び上限号俸を定め、四号ずつ昇給することとしております。

一方、パートタイム会計年度任用職員は、国の人事院勧告に基づく給与表の改定に合わせて給料の改定をしておりますが、フルタイム会計年

度任用職員のような昇給制度とはなっておりません。

次に、本広域連合職員の退職手当は、長野県市町村総合事務組合規約に基づく市町村職員退職手当条例の規定により支給しております。任用期間六か月以上のフルタイム会計年度任用職員が退職した場合に支給対象としております。

支給対象者は、令和二年、三十二人で、支給合計額は二百四十九万三千七百二十四円となっております。

次に、三点目の待遇改善についてお答えいたします。

本広域連合では、職員の高齢化に伴いまして、人件費が年々増加しており、加えて、施設の老朽化が進む中、維持管理面においても大変厳しい状況となっておりますが、引き続き、施設の稼働率の向上と運営経費の節減などによりまして、収支改善を図りながら、今回のような国の制度等を活用することにより、給与等の待遇改善に努め、人材確保につながるよう取り組んでまいります。

以上です。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） ありがとうございます。

フルタイムの三百一十二万円、年収ということで、一応、退職手当もあり、昇給もあるということなんですが、さっきの人材確保も含めて、三百一十二万円というのはどうなんでしょう。介護職、特に、コロナなんか、いろんな部分があるわけですよね、今。大変な職種であって、正規職員

とはかなり差があると思うんですよ。三百一十二万円というのは、正直に言うって、生活ができるかどうか、一人では。でも、結婚もできないと思うんですよ。そうしたときに、その辺の改善で、今回、たった九千円なんです。もうちょっと全体的な、フルタイムが負っている部分というのは結構あると思うんですよ。先ほど私が言ったように、三十五パーセントあるんです。その辺の、ほかの民間に比べて、より高いのか。その辺、どう考えて、この三百一十二万円、どういう認識を持っていらいしやいますか。

○議長（小泉栄正） 西澤総務課長。

○総務課長（西澤真二） お答えいたします。

一昨年度のデータですけれども、ハローワーク等にお伺いしまして、民間の社会福祉法人の今までの嘱託職員としての給料の年額を比べたところ、長野広域連合のフルタイム会計年度任用職員の給料額は、水準、平均より若干上というような状況でございます。

そうはいっても、今、議員さん御指摘のとおり、やはり全国的に人材確保が困難というところでございますんで、できるだけ、先ほど事務局長から申し上げましたが、補助金等、国の介護報酬を上げていただければ一番いいんですが、なかなかそんなわけにいきませんので、国の動向を見ながら、我々広域連合としてできることをやっていく中で、処遇改善につなげていければなというように思っておりますので、御理解をお願いいたします。

以上でございます。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） ありがとうございます。

職員の待遇については、樋口副市長が一番、私も職員で長かったんで、よく御存じだとは思うんで、私どもの頃は、ほとんどが正規職員で、非正規なんであまりいなかったんですよ。それが今は、どこの自治体でも非正規が多くなっちゃって、かなり待遇が格差ができていると思うんですが、その辺、副連合長としてどういうふうに、今後のことも含めて、御見解がありましたら、お聞かせください。

○議長（小泉栄正） 樋口副連合長。

○副広域連合長（樋口 博） 国のほうも、会計年度任用職員というような制度を導入しながら、基本的にはこの部分については毎年退職金が出るというような制度もございまして、いわゆる臨時職員の処遇改善につきましては国を挙げてやっている部分がございますので、その辺の動向をよく見ながら、我々のほうも対応していきたいと。

基本的には、そういう生活レベル、給与レベルを少しずつでも上げていきたいというのが我々の考えているところでございますので、御理解いただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） ありがとうございます。

是非、引き続き、大変な職を行っている非正規職員の待遇改善には引き続き御努力をいただきたいと思います。

最後に、私事で申し訳ないですが、樋口副広域連合長におかれましては、報道によりますと、このたび、長野市副市長職を後進に譲るとの報道がなされました。最後の長野広域連合において、一言、感謝の言葉を申し上げたいと思います。

私事ですが、私が須坂市職員時代に、須坂市が観光行政に力を入れ始めた頃、樋口副連合長さんに、広域観光行政の推進に大変お世話になりました。また、信州岩波講座にも度々来ていただきました。

長野市職員として豊富な経験を生かし、長きにわたり、広域行政の発展のために御尽力をいただきましたことに対しまして、心より感謝を申し上げます次第であります。

これからは健康に十分御留意いただき、行政のため、また、地域のために御尽瘁あらんことをお願い申し上げ、私の一般質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（小泉栄正） 以上で、広域連合行政事務一般に関する質問を終わります。

委員会審査のため、この際、午後三時三十分まで休憩いたします。

(休憩) 午前十一時十分

(再開) 午後三時二十八分

○議長(小泉栄正) 休憩前に引き続き会議を開きます。

各委員会の審査が終了しておりますので、これより委員会の審査の経過並びに結果について、各委員長から報告を求めます。

初めに、総務福祉委員会委員長、佐藤壽三郎議員。

○総務福祉委員会委員長(佐藤壽三郎) 十四番、佐藤壽三郎でございます。

私から、長野広域連合議会定例会におきまして、総務福祉委員会に付託されました諸議案につきましては、お手元に配布しております総務福祉委員会決定報告書のとおり、全て原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。

○議長(小泉栄正) 以上をもちまして、総務福祉委員会委員長の報告を終わります。

続いて、環境衛生委員会委員長、和田英幸議員。

○環境衛生委員会委員長(和田英幸) 十六番、和田英幸でございます。

私から、長野広域連合議会定例会におきまして、環境衛生委員会に付託されました諸議案につきまして、お手元に配布されております環境衛生委員会決定報告書のとおり、全て原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。

○議長(小泉栄正) 以上をもちまして、環境衛生委員会委員長の報告を終わります。

ただ今行いました委員長報告に対する質疑、討論がありましたら、該当議員は挙手をお願いします。

(「進行」と呼ぶ者あり)

○議長(小泉栄正) 進行いたします。

ただ今から、委員長報告に対する質疑、討論、採決を行います。

初めに、総務福祉委員会所管の議案第一号、令和三年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算、質疑、討論の通告がありますので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、同じく総務福祉委員会所管の議案第三号、令和四年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計予算、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、同じく総務福祉委員会所管の議案第四号、令和四年度長野広域連合長野地域ふるさと事業特別会計予算、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、同じく総務福祉委員会所管の議案第六号、長野広域連合職員の

旅費に関する条例の一部を改正する条例、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、同じく総務福祉委員会所管の議案第七号、長野広域連合養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、環境衛生委員会所管の議案第五号、令和四年度長野広域連合ごみ処理施設事業特別会計予算、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、各常任委員会所管の議案第二号、令和四年度長野広域連合一般会計予算、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

以上をもちまして、本議定会例会に提出されました案件の審議は全て終了いたしました。

次に、広域連合長から発言を求められておりますので、これを許可します。

萩原広域連合長。

○広域連合長（萩原健司） 長野広域連合議会二月定例会の閉会に当たり

まして、御礼の御挨拶を申し上げます。

本日提出いたしました案件につきまして、原案どおり御決定をいただき、誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

本広域連合においては、ごみ処理施設の整備や運営及び高齢者福祉施設の運営をはじめ、重要な課題が山積しておりますが、今後も関係市町村と力を合わせ、課題の解決に向け取り組んでまいりますので、議員の皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

議員の皆様におかれましては、いまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症が流行している中、まだまだ寒い日が続きますので、御健康に十分御留意いただきまして、ますますの御活躍を御祈念申し上げます。閉会の御挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

○議長（小泉栄正） 以上をもちまして、令和四年二月長野広域連合議定会例会を閉会いたします。

午後三時三十八分

地方自治法第二百三十三条第二項の規定により署名する。

令和      年      月      日

議 長

副 議 長

署 名 議 員

署 名 議 員